

2.2 「地域包括ケアシステム」(茨城県笠間市)

〔概要〕

笠間市は、茨城県のほぼ中央部に位置し、首都圏から約100Km、人口77,000人強の都市です。北関東の交通の要所であるとともに、日本三大稻荷の一つである笠間稻荷神社や130軒以上ある笠間焼、茨城県陶芸美術館、日動美術館、筑波海軍航空隊記念館などがあり、年間300万人を超える観光客が訪れる観光都市の一面も持っています。また、県立中央病院、県立こころの医療センターが立地しており、市立病院や民生委員のネットワーク体制が構築され、社会福祉ボランティアも活発な地域であることから、「福祉のまち」としても認知されています。一方、近年は、人口減少、高齢化が進んでおり、かつ、東日本大震災からの復興といった課題にも直面しています。

そのような中、2012年2月、保健・医療・福祉・教育・産業の各分野を連携させて、市民と行政、民間企業が一体となり、誰もが健康に暮らせるまちづくりをめざす『健康都市かさま宣言』を行いました(図1)。この理念を具体化するには、各分野の活動や情報を連携させるネットワークが必要です。ちょうどクラウド型の行政情報公開・情報共有システムを試験導入する話があり、「介護健診ネットワーク」に取り組みました。

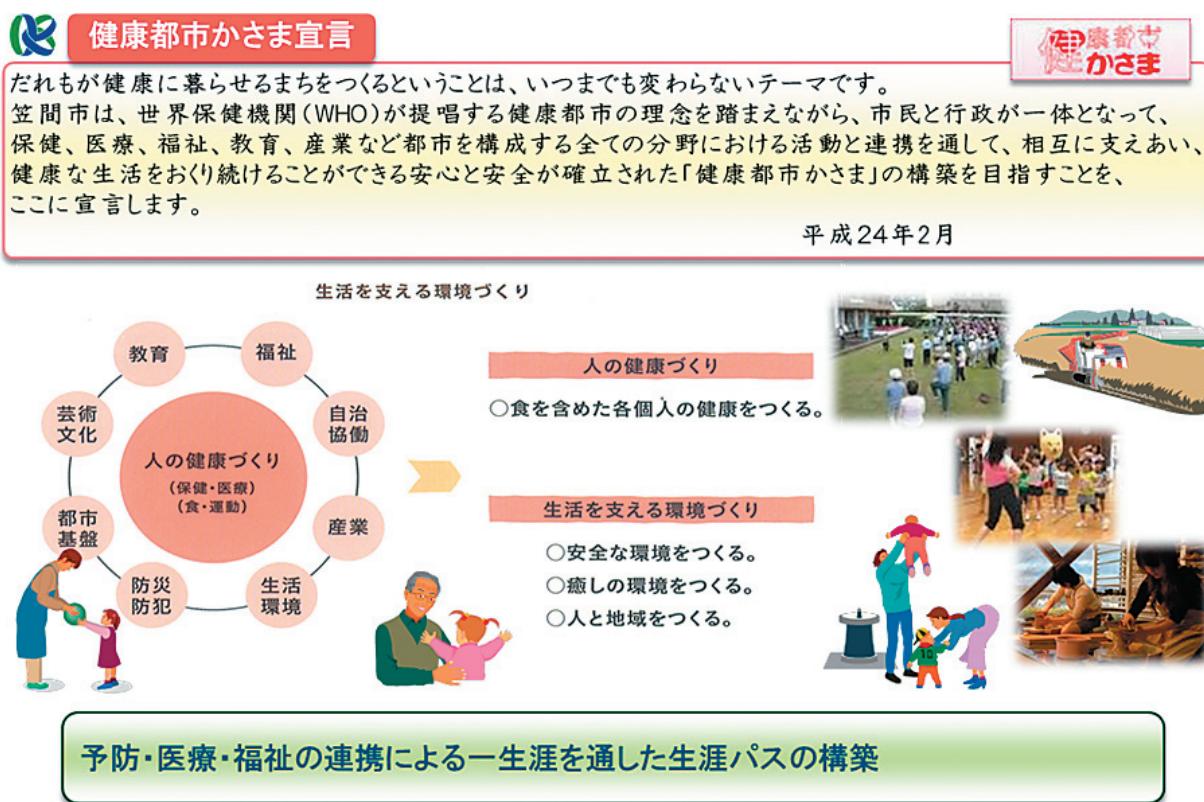


図1 健康都市かさま宣言



特集2 あなたが住む街の医療・健康・福祉情報への取組

「介護健診ネットワーク」は、笠間市が保有している介護資格／認定履歴や健診結果、高齢者の見守り情報(緊急連絡先・主治医等)を、公開管理サーバを経由してクラウドに登録します。また、介護事業者が保有するケアプランなどの介護情報や調剤薬局が保有する高齢者に処方したお薬情報もクラウドに登録します。これらの情報を、介護事業者や医師、看護師、ソーシャルワーカー、救急隊員など、アクセス権限を与えられた関係者間のみでセキュアに共有し、活用することで、介護・医療サービスをより効果的に、効率的に提供し、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築することを目指します(図2)。

試験運用に参加した事業者の皆さんからは、“情報入手がとても楽になる”“対象者一人ひとりの情報がまとまって見られて助かる”“介護認定審査会の審査状況がリアルタイムにわかり、サービス開始の予定が立てやすくなる”など、高い評価をいただき、2014年10月からは実運用を開始しました。

笠間市では、本介護健診ネットワークを、「健康都市かさま宣言」の実現に欠かせない基盤と位置づけて今後も推進していく予定です。

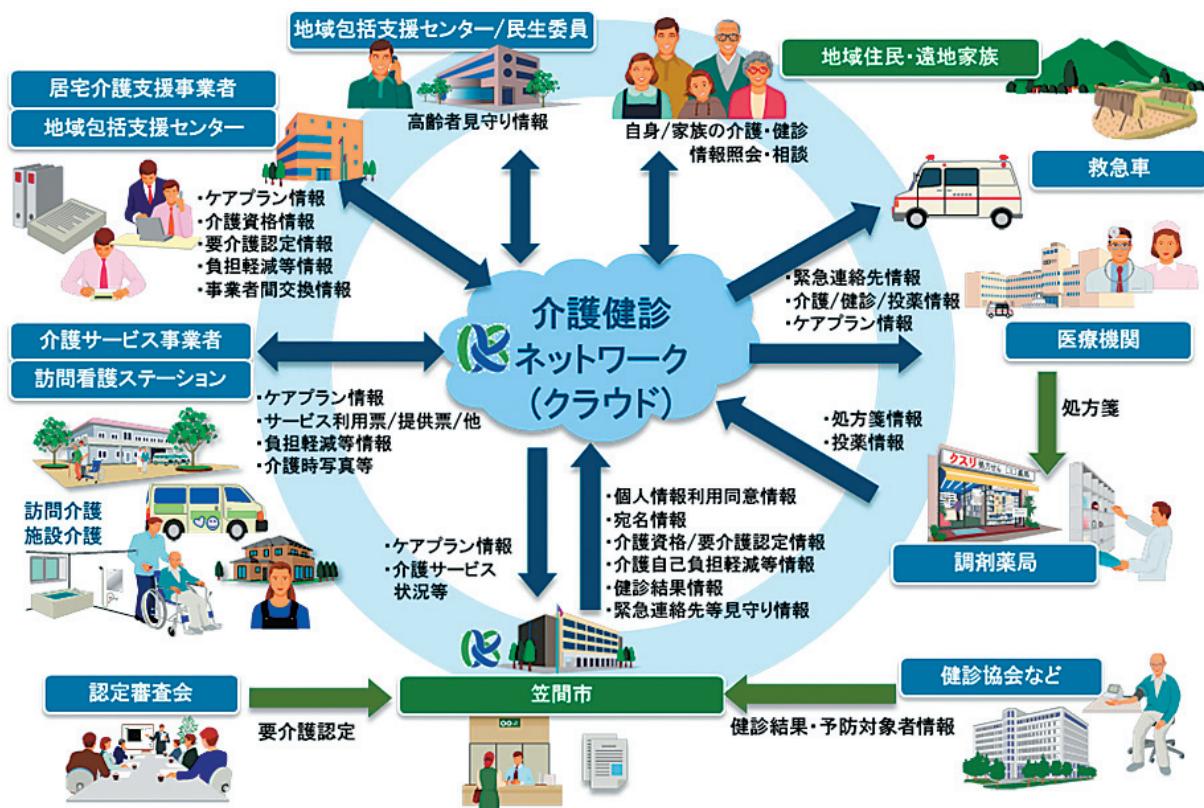


図2 介護健診ネットワークシステムの概要

〔コラム〕

(1) システム概要

「介護健診ネットワーク」は、大きく以下の5つの機能からなります(図3)。まず、①利用同意を得た住民の介護情報等をクラウドに転送する公開管理機能、②クラウドの介護情報等を閲覧・登録や職種間の情報連携を行う事業者アプリ機能、③iPadでクラウドに接続し、対象者情報参照、画像などの登録・閲覧を行う端末アプリ機能、④Webブラウザでクラウドへ接続し、介護認定結果、ケアプラン、サービス実績を照会する情報照会機能、⑤介護情報等のデータ管理、利用アクセス制御を行うデータ管理機能、です。

また、セキュリティについては、特に重要視しており、サーバと端末側で二重暗号化通信を行っています。インターネット上の暗号通信技術・SSLに加えて、独自の暗号通信技術も追加しています。また、GPSを使い、指定場所以外では端末利用を制限する対策も施すなど、関係者間で情報連携するための運用コストを抑えつつ、高セキュリティに行える仕組みを構築しています。

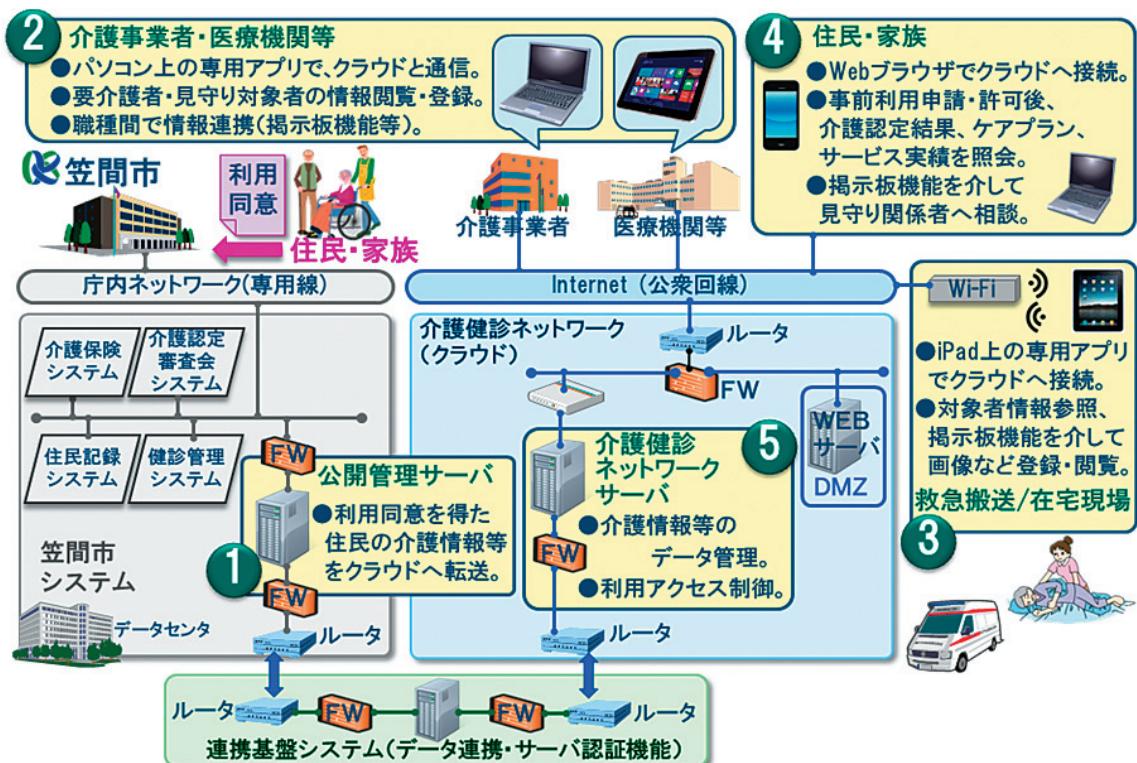


図3 介護健診ネットワークの機能概要



特集2 あなたが住む街の医療・健康・福祉情報への取組

(2) 今後の展開

「介護健診ネットワーク」は、当初は介護分野から運用を開始しましたが、今後は、介護・医療の連携、救急医療連携へと、順次拡大していく予定となっています。

今年度の介護保険法改正で、在宅医療や地域支援の重要性がさらに高まることが予想されます。団塊の世代が75歳以上になる2025年問題に対応していく為にも、介護と医療が密に連携し、迅速正確に情報を授受できる基盤ができたことには、とても大きな意味があると考えています。介護健診ネットワークを『地域包括ケアシステム』のICT基盤として、全市民、そして全ての関係機関を対象として、推進していく予定です(図4)。

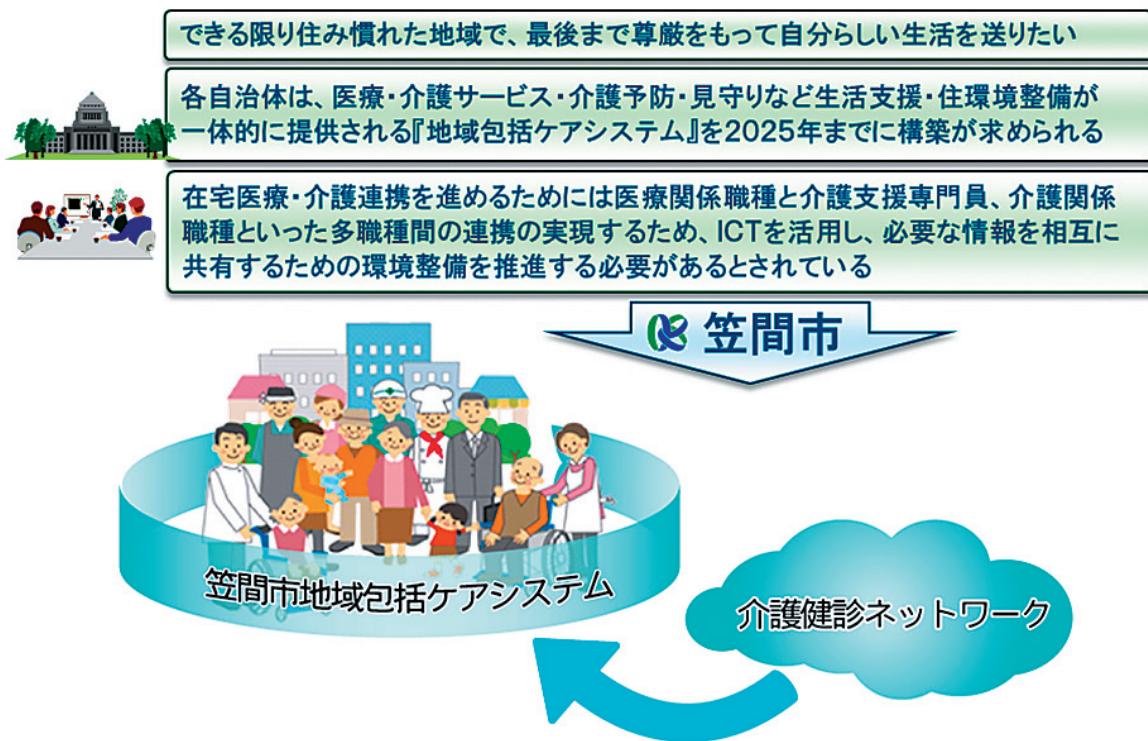


図4 地域包括ケアシステムの実現に向けて

(問い合わせ先)

笠間市 市長公室 企画政策課

TEL:0296-77-1101(内線210)

URL:<http://www.city.kasama.lg.jp/index.html>